

認知症に関する活動計画(概要)

静岡県作業療法士会では、学術部に所属する認知症班が認知症関連の活動を担当している。6名の班員で活動をしており、県士会員に向けての研修会を担当するSIG事業と、当事者・家族・他職種等の連携や支援を目的としたWG(ワーキンググループ)事業を主な活動としている。SIG事業では、基礎編の認知症作業療法研修や応用編であるステップアップ研修を開催している。

令和8年度からは、内容の見直しや参加しやすいように平日開催にしている。WG事業では令和5年度からは認知症の人と家族の会静岡県支部の賛助会員となり、令和6年度からは本人ミーティング内でレクリエーション活動を担当させていただいている。今後は、地域で活動したい会員に対しての支援のため、静岡県版のシラバスを作成し人材育成に取り組んでいきたい。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

すぎなの会会員、行政職員と共に、静岡駅コンコースでチラシ配りなどの啓発活動を実施している。年々配布部数を増刷しているが、予定よりも早く配布し終え、認知症基本法が制定されて以降、さらに県民の関心の高さがうかがえる。



認知症の人と家族の会との連携事業

毎月開催されているすぎなの会のつどいに認知症班の班員を派遣し、本人ミーティングでの「OTタイム」を担当している。毎回異なる班員が交代で参加しているため、報告書を作成し申し送りをしながら対応している。また、参加者も能力の程度が異なるため、支援者と協力しながら関わっている。季節を感じたり、主体的な活動ができるように工夫しながら関わっている。



【OTタイムの概要】

参加者：当事者3～5名程度、世話人3名、OT1名

時間：1時間程度

内容：①あいさつ

②ラジオ体操・ストレッチ

③レクリエーション(歌・ゲーム・創作活動など)

【課題】

- ・県内に家族の会は多数あるが、関わっているのは一か所のみ。
- ・こちらが一方向的に活動を提供している現状がある。



- ・ 今後は、参加する家族会を拡大していきたい。
- ・ ミーティングの中で本人の話を聞ける場にしていきたい。

情報共有(メーリングリストの作成)や座談会での仲間づくり

メーリングリストを作成し、認知症班の研修会案内や家族会での活動報告をおこなっている。リストへの登録は、研修会や県学会等で広報し、現在は85名となっている。

また、県士会員向けにzoomでの座談会を毎年実施している。すでに地域で活動している会員やこれから地域での活動に参加したい会員に向けて参加者同士が気軽に質問しあえる会にすることで、活発な意見交換が行われている。